

## 電気保安のスマート化推進に向けたスマート保安技術の導入実態調査（令和3年度）について

## 1. 調査項目の概要

- 本アンケートの調査項目は、合計12項目の構成となっています。各項目ごとに、質問/回答用紙が1シート分用意されています。
- 各項目につきまして、本Excel上（合計12シート）にてご回答の程宜しくお願い致します。

調査項目	本Excelの対応シート名
0 対象電気設備の概要	0 設備選択
1 スマート保安技術導入（自主保安力強化）に対する経営姿勢	1 経営姿勢
2 スマート保安技術を活用したCBM管理技術の整備	2 CBM管理
3 スマート保安技術の導入状況	3 導入状況
4 スマート保安導入に関する人材育成の体制	4 人材育成
5 スマート保安技術の開発力と牽引力	5 開発牽引力
6 スマート保安に関する個別技術の導入状況の調査	6 技術動向
7 プロモーション委員会の知名度と活動について	7 委員会
8 スマート保安技術モデルの採算性に関する調査	8 コスト等
9 スマート保安技術の導入推進に障害となる事項の調査	9 障害
10 事業者のスマート保安推進に関する目標値（KPI）の考え方	10 KPI
11 ご意見・ご要望	11 ご意見・ご要望

## 2. 回答期限

- 恐れ入りますが、弊社への最終回答期限は**2021年11月15日**としていますので、所属の業界団体の指定する回答期限内までにご回答くださいますようお願い申し上げます。

## 3. 回答方法

- 回答にあたっては、別添「スマート保安推進に係るアンケート調査の記載内容説明書」を参照し、回答をお願い致します。
- 各設問への回答は回答欄（黄色セル）に入力して下さい。回答方法は3通りありますので、入力規則に則り回答をお願いします。
- ※ 回答済のものについては、回答欄（セル）が黄色から白色に変化します。

## 回答方法

- チェックボックス : チェックボックス（□）にチェックマーク（☑）を入れることで回答する場合。
- プルダウン : プルダウンの選択肢を選ぶことで回答する場合。
- 直接入力 : 直接回答欄に回答を入力する場合。

- アンケートの回答が終わりましたら、回答済みのExcelファイルを添付の上で、所属の業界団体又は以下の宛先まで返送をお願い致します。

- ※ 業界団体と以下の宛先のどちらかに返送するかは業界団体の指定にしたがってください。
- ※ メールでの返送が困難な場合、以下までご相談下さい。

## 返送先

- 会社名 : 株式会社エヌ・ティ・ティ・データ経営研究所
- 部署名 : ██████████
- 担当者 : ██████████
- メールアドレス : ██████████
- 住所 : 〒102-0093 東京都千代田区平河町二丁目7番9号 JA共済ビル9階

## 4. その他

- 調査結果は、「電気保安のスマート化推進に向けたスマート保安技術の導入実態調査」における今後の施策等に活かすために活用させていただきます。頂いた回答は、統計的に処理し、所属、氏名等が特定できる形では公表いたしません。
- なお、本調査で使用したメールアドレスは、厳重に管理し、本調査以外では使用しません。
- 回答にあたり不明点等があった場合は、別添の「スマート保安推進に係るアンケート調査の記載内容説明書」をご参照をお願い致します。
- 「スマート保安推進に係るアンケート調査の記載内容説明書」を参照してもご不明点等ございましたら、恐れ入りますが下記の宛先までお問合せ下さい。お問合せの際は、「スマート保安推進アンケート調査について」である旨をお伝え下さいますようお願い致します。

## 【お問合せ先】

ご不明点がございましたら以下メールアドレスまでご連絡下さい。

- 会社名 : 株式会社エヌ・ティ・ティ・データ経営研究所
- 部署名 : ██████████
- 担当者 : ██████████
- 電話番号 : ██████████

0 設備対象

アンケート調査の対象設備を火力発電、水力発電、太陽電池発電、風力発電、変電所、送電線路、高圧配電線路及び受電設備の中から一つだけ選択して下さい。なお、太陽電池発電、風力発電及び需要設備は、特高受電又は高圧受電の設備規模についても選択をお願いします。

アンケート回答者名は無記名でも構いませんが、差し支えなければご記載ください。

アンケート回答者名（任意）	
---------------	--

対象電気設備の概要		備 考
設備の種別（必須）	設備規模 (※太陽電池発電、風力発電、需要設備を選択した方は回答)	

火力発電	
水力発電	特高受電
太陽電池発電	高圧受電
風力発電	
変電所	
送電線路	
高圧配電線路	
需要設備	

1 スマート保安技術導入（自主保安力強化）に対する経営姿勢

スマート保安官民協議会におけるスマート保安の促進の留意点である「テクノロジーを活用しつつ、自主的に高度な保安を確保できる事業者」の考え方の一つとして、経営トップのコミットメント（代表者の責任下での保安に係る方針の明示や監督体制の整備等）が明記されています。

貴組織（会社、団体等）におけるスマート保安推進に向けてのスマート保安技術の導入に対する経営方針又は経営姿勢について、項目（1～5）ごとに、「導入目標意思と予定時期」、「現時点の取組状況」及び「2025年時点の取組状況」において、適切なものを選択して下さい。

	内 容	導入目標意思・時期		現時点の 取組状況	2025年時点の 取組状況
		目標意思	導入予定時期		
1	企業トップがスマート保安に対する目指すべき姿についてコミットしている。				
2	スマート保安技術を導入推進する組織体制や仕組みが確立されている。				
3	スマート保安技術の効果的な導入と保安人材との融合による保安力の向上を目指した実行プランが実施されている。				
4	スマート保安のアクションプランが確立・認知され、導入推進に関するPDCAの循環が組織として機能している。				
5	スマート保安技術の展開及び評価情報を可能な限り業界内や他の産業保安分野に発信・共有する仕組みが構築されている。				

		実施済み	実施済み
導入	導入済み	概ね実施	概ね実施
検討	2022年	一部実施	一部実施
未定	2023年	試験・評価中	試験・評価中
導入予定無し	2024年	検討中	検討中
	2025年	予定無し	予定無し
	2026～2027年		
	2028～2030年		
	2031年～		
	未定		

2 スマート保安技術を活用したCBM管理技術の整備

スマート保安として開発・導入が期待される技術分野の一つに、AI等による異常検知、予兆検知、余寿命予測等により、TBMからCBM管理への運転・保全活動の道筋が提示されています。各業界又は設備規模により、過去からのCBM管理への考え方や取組は異なると思われませんが、貴組織におけるCBM管理技術の整備状況について、項目(1~5)ごとに、「導入目標意思と予定時期」、「現時点の取組状況」及び「2025年時点の取組状況」において、適切なものを選択して下さい。なお、CBM管理とは、データ分析を人的又はAIを活用して実施し、設備の異常発生を事前に予測して、定期的な点検から必要によりメンテナンスを実施する設備管理手法を指します。また、CBM管理の段階的な構築は、データ収集→常態監視→データ分析→AI等の活用を想定して項目順番を設定していますが、業界又は設備によって整備又は構築順番は異なることもあるので、順番に拘らずに実態における記載をお願い致します。

内 容		導入目標意思・時期		現時点の	2025年時点の	目標意思が「導入予定無し」 の場合の主な理由（任意）	その技術を導入した場合に期待される効果（複数選択可）							
		目標意思	導入予定時期	取組状況	取組状況		業務効率	人材確保	安全確保	品質向上	精度向上	労務削減	費用削減	無人化
1	日常点検結果（巡視、計測値等）を、手動又は自動でデジタル化・整理・分析し、その結果を常時確認できる。						<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
2	ドローン、センサー等を活用して、運転の常態監視や点検測定の結果を自動でデジタル化・整理・分析し、そのデータを確認できる状況になっている。						<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
3	運転及び点検測定データ等を高度な統計分析又はAIを用いた分析・解析により、設備ごとの整備・交換時期等を検討している。						<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
4	スマート保安導入に際し、システムトラブルやサイバーセキュリティーに万全の対策が実装され、設備等に異常が生じた場合に速やかな対応が可能な体制が整備されている。						<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
5	サイバー・テロにも耐えうる対策が施されたCBM管理技術(設備の状態に基づいた保全)が十分に活用・整備されている。						<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	

		実施済み	実施済み
導入	導入済み	概ね実施	概ね実施
検討	2022年	一部実施	一部実施
未定	2023年	試験・評価中	試験・評価中
導入予定無し	2024年	検討中	検討中
	2025年	予定無し	予定無し
	2026~2027年		
	2028~2030年		
	2031年~		
	未定		

3 スマート保安技術の導入状況

電気保安分野において、IoTやAI、ドローン等の新たな技術を導入することで、保安力の維持・向上と生産性の向上を両立（＝電気保安のスマート化）させていくことが重要であり、開発・導入が期待される技術分野は、①ロボット・ドローン、②センサー・カメラ、③定期・常時伝送、④異常検知・予兆検知・CBM、⑤ウェアラブル機器・携帯端末等となっています。  
 スマート保安技術の内容は次のように多様に渡り、設備実態や課題解決の重要性により導入の優先度は異なります。貴組織におけるスマート保安技術の導入状況について、各項目（1～5）ごとに、「導入目標意思と予定時期」、「現時点の取組状況」及び「2025年時点の取組状況」において、適切なものを選択して下さい。

内 容	導入目標意思・時期		現時点の 取組状況	2025年時点の 取組状況	目標意思が「導入予定無し」 の場合の主な理由（任意）	その技術を導入した場合に期待される効果（複数選択可）								
	目標意思	導入予定時期				業務効率	人材確保	安全確保	品質向上	精度向上	労務削減	費用削減	無人化	その他
1 可搬型を含むデジタル機器等（端末機、計測装置、測定器等）を活用して、データの取得及び保存を行っている。						<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
2 定置型センサーや計測装置等を活用して、常態監視又は遠隔監視を行っている。						<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
3 遠隔監視に加えて、緊急時の運転停止や開閉操作等の遠隔操作を行っている。						<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
4 点検・測定データや運転データに対して、高度な統計分析又はAIを活用した運転・保全活動（支援又は自動化）を構築・展開している。						<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
5 取得したデータを活用し、AI等で分析・解析による異常検知、予兆検知又は余寿命予測を行っている。						<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	

		実施済み	実施済み
導入	導入済み	概ね実施	概ね実施
検討	2022年	一部実施	一部実施
未定	2023年	試験・評価中	試験・評価中
導入予定無し	2024年	検討中	検討中
	2025年	予定無し	予定無し
	2026～2027年		
	2028～2030年		
	2031年～		
	未定		

4 スマート保安導入に関する人材育成の体制

新たな保安技術を導入するには、専門分野の人材育成の重要性は高く、新しい電気保安の姿に基づいた、新しい電気保安体制・業務（スキル・役割・責任分担の再設計）を整理し、デジタル人材の新規・中途採用や共同事業、外部研修の活用等を通じて、スマート保安に必要な能力（統括管理、技術レベル、設計等）を補完する必要があります。

なお、人材育成は、経営・企画部門からスマート保安を中長期的に支える現場の最前線の状況や新技術に精通した人材まで幅広い育成体制と計画・実施の仕組みが不可欠です。

貴組織におけるスマート保安導入に関する人材育成の整備状況について、項目（1～5）ごとに、「導入目標意思と予定時期」、「現時点の取組状況」及び「2025年時点の取組状況」において、適切なものを選択して下さい。

内 容	導入目標意思・時期		現時点の取組状況	2025年時点の取組状況
	目標意思	導入予定時期		
1 経営者又は従業員がスマート保安に係る研修又は講習を受講している。				
2 組織内でスマート保安に関する勉強会を企画・開催している。				
3 組織として、計画的にスマート保安に関する研修を開催するなど人材の育成体制がある、又は資格などを用いてスマート保安に関する人材の見える化をしている。				
4 スマート保安をコーディネート又は推進するプロジェクトリーダー的人材の育成体制がある。				
5 スマート保安技術の導入又は取組み事例の紹介などを組織内に積極的に発信する体制が整っており、外部への情報発信や外部の人材育成にも貢献している。				

		実施済み	実施済み
導入	導入済み	概ね実施	概ね実施
検討	2022年	一部実施	一部実施
未定	2023年	試験・評価中	試験・評価中
導入予定無し	2024年	検討中	検討中
	2025年	予定無し	予定無し
	2026～2027年		
	2028～2030年		
	2031年～		
	未定		

5 スマート保安技術の開発力と牽引力

スマート保安技術の実装については、2025年に向けて、個別の保安業務の効率化を進めるべく、すでに一定程度確立している要素技術について、既存の保安業務の補完性・代替可能性について実証を進めるとともに、法令や業界指針の必要な環境整備を進め、その普及を図ります。

現在、未確立の要素技術については、その開発・実証を進め、要素技術を組み合わせた保安システム全体のマネジメントモデルの実証を行い、技術が確立した段階で徐々に実用化を進めていくこととなっており、各業界におけるIoT機器やAIの活用について、研究・開発・実証が進められています。

貴組織におけるスマート保安技術の開発力と牽引力について、項目（1～5）ごとに、「導入目標意思と予定時期」、「現時点の取組状況」及び「2025年時点の取組状況」において、適切なものを選択して下さい。

内 容	導入目標意思・時期		現時点の取組状況	2025年時点の取組状況	目標意思が「導入予定無し」の場合の主な理由（任意）
	目標意思	導入予定時期			
1 既存技術を組合わせたスマート保安技術の開発又は導入に取組んでいる。					
2 ドローン、IoT、高度な統計分析、AI等の最新技術を積極的に活用したスマート保安技術の導入推進に取組んでいる。					
3 センサー類、AI又は監視システムなどのスマート保安技術を自社又は他機関と共同で研究開発している。					
4 スマート保安に係る新技術を組合わせた新しい保安技術を普及促進するとともに、保安技術モデルを創出している又は社内標準規格の設定など規格の標準化に向けた取組を進めている。					
5 確立した新しい保安技術又は保安技術モデルを業界又は社会に公開・横展開している。					

		実施済み	実施済み
導入	導入済み	概ね実施	概ね実施
検討	2022年	一部実施	一部実施
未定	2023年	試験・評価中	試験・評価中
導入予定無し	2024年	検討中	検討中
	2025年	予定無し	予定無し
	2026～2027年		
	2028～2030年		
	2031年～		
	未定		

6 スマート保安に関する個別技術の導入状況の調査

電気保安の保安管理に用いるIoT機器の導入には、各業界設備の管理手法やノウハウを考慮しつつ、効果的かつコストパフォーマンスの高いものが求められており、導入できる設備規模や特殊性から、独自の研究・開発及び管理システム開発が重要と認識されています。

各業界設備に必要とされる保安技術の優先度は異なると思われませんが、既に一定程度確立している要素技術を活用し、既存の保安業務の補完性・代替可能性について実証・導入を進めるとともに、IoT・AI等の未確立の要素技術は、研究・開発・実証を進め、技術が確立した段階で徐々に実用化を進め、スマート保安技術として導入する方向性が示されています。

貴組織におけるスマート保安に関する個別技術の導入状況について、項目（1～6）ごとに、「導入目標意思と予定時期」、「現時点の取組状況」及び「2025年時点の取組状況」において、適切なものを選択して下さい。

スマート保安の技術項目	具体的な実施内容	導入目標意思・時期		現時点の	2025年時点の
		目標意思	導入予定時期	取組状況	取組状況
1 現場作業のデジタル化（可搬型：五感から数値判断へ）	携帯端末機（タブレット等）				
	デジタル計測器類又は測定器				
	点検・測定結果の電子保存				
	その他（ ）				
2 ドローン等の活用した巡視等の代替点検	空中ドローン				
	水中・水上ドローン（水管を含む）				
	自走ドローン（地下、ダクト、煙突等）				
	ロボット				
3 各種定置型計測器、センサーを活用した遠隔状態監視	自動計測装置（電流、電圧、圧力等）				
	可視カメラ（目視）				
	赤外線カメラ（熱画像等）				
	温度関係センサー（温度計・熱電対等）				
	環境関連センサー（匂い、埃等）				
	超音波センサー（放電、異音等）				
	電流又は電圧の波形等の計測				
	その他（ ）				
4 開閉器等の遠隔操作による操作対応	動作機器又は健全性のチェック				
	動作機器の再稼働に関する遠隔操作				
	緊急時の停止又は開放の遠隔操作				
	その他（ ）				
5 ウェアラブルカメラ等を活用した現場作業の遠隔支援システム	携帯端末機（タブレット等）を併用				
	ウェアラブルカメラ				
	現場管理又は操作マニュアルの電子化				
	その他（ ）				
6 高度な統計手法又はAIを活用した業務支援	現場における人の点検結果判断を支援				
	点検結果の自動判定（高度を除く）				
	データ分析による異常予測				
	総合評価による寿命予知				
	その他（ ）				

	導入済み	実施済み	実施済み
導入	導入済み	概ね実施	概ね実施
検討	2022年	一部実施	一部実施
未定	2023年	試験・評価中	試験・評価中
導入予定無し	2024年	検討中	検討中
	2025年	予定無し	予定無し
	2026～2027年		
	2028～2030年		
	2031年～		
	未定		

7 プロモーション委員会の知名度と活動について

官民間・業界間でのコミュニケーションツールとして、スマート保安技術やデータを活用した新たな保安方法について、その妥当性を確認する場として「スマート保安プロモーション委員会」(事務局：独立行政法人製品評価技術基盤機構[NITE])を立ち上げ、個別プロセスごとの保安体制の妥当性・実効性を確認するとともに、基準策定や規制見直しを進めることとなりました。  
 具体的には、①必要と思われるデータの画定・取得方法や、②取得したデータに基づく新たな保安技術の妥当性を確認し、③必要に応じて、既存の電力保安関係の委員会と連携し、一定の基準の策定や規制の見直しを図ることとしています。  
 貴組織におけるスマート保安プロモーション委員会の認知度等について、各項目の設問に対して、適切なものを選択して下さい。

(1) 知名度：プロモーション委員会をご存じですか。

- ① 目的や役割を理解している。
- ② プロモーション委員会の設置概要等を知っている又は聞いている。
- ③ 名称だけは知っている又は聞いたことはある。
- ④ 聞いたこともない。
- ⑤ その他( )

(2) 内容把握：プロモーション委員会の活動内容を理解していますか。

- ① 把握・理解している。
- ② 概ね把握・理解している。
- ③ ある程度把握はしているが理解までは至っていない。
- ④ 把握も理解もしていない。
- ⑤ プロモーション委員会自体を知らない。
- ⑥ その他( )

(3) プロモーション委員会に期待又は要望する活動内容又は仕組みを教えてください。(複数選択:レ点チェック)

<input type="checkbox"/>	特に無し
<input type="checkbox"/>	開発・運用している保安技術を第三者機関として評価すること。
<input type="checkbox"/>	トップランナーとしての評価を受けた保安技術を公表、およびインフラメンテナンス大賞等既存の表彰制度と連携させること。
<input type="checkbox"/>	開発したスマート保安技術が評価され、営業活動促進に寄与すること。
<input type="checkbox"/>	保安技術モデルを業界内に普及促進すること。
<input type="checkbox"/>	運用に際しての規則やルールに対する見直し等を国等へ提言を行うこと。
<input type="checkbox"/>	新たな保安技術モデル化に向けたアドバイス等を行うこと。
<input type="checkbox"/>	その他 ( )

(4) スマート保安を推進するために、プロモーション委員会を活用したい保安技術モデルはありますか。ある場合はその概要と時期を記載して下さい。

- ① 活用したい。
- ② 検討したい。
- ③ 活用する予定はない。
- ④ その他( )

・スマート保安技術の概要No 1
・プロモーション委員会を活用したい時期(予定年月)
・導入を推進するために委員会から国等へ要望して欲しい内容等(例：○規則の改定、△△の標準化)
・問合せ先組織名・部署・担当者(任意)

・スマート保安技術の概要No 2
・プロモーション委員会を活用したい時期(予定年月)
・導入を推進するために委員会から国等へ要望して欲しい内容等(例：○規則の改定、△△の標準化)
・問合せ先組織名・部署・担当者(任意)

8 スマート保安技術モデルの採算性に関する調査

スマート保安技術を導入し、保安力の維持向上と生産性の向上を図る上で、導入及び運用コスト等の経済性（採算性）をどのように判断していますか。

貴組織におけるスマート保安技術モデルの導入に対する採算性の基本的な考え方について、最も適切なものを選択して下さい。（案件により異なると思われますが基本的な考え方でご回答ください）

(1) スマート保安推進のために開発(又は研究・検討)している保安技術モデルについて、採算性はどのように考えていますか。

- ① 開発予定はない。
- ② 採算は十分取れると考えている。
- ③ 普及拡大すると採算は取れる。
- ④ 若干採算は厳しい。
- ⑤ 採算は厳しく苦慮している又は導入・運用までは難しい。
- ⑥ 総合的なメリットが大きいので採算性はあまり考慮していない。
- ⑦ その他 ( )
- ⑧ 不明

(2) 新たに開発(又は研究・検討)している保安技術モデルについて、販売、レンタルもしくは業務受託を考えていますか。

- ① 開発予定はない。
- ② 自社又はグループ内での活用に限定する。
- ③ 販売、レンタル等を実施または検討している。
- ④ 業務受託を実施または検討している。
- ⑤ 対応を検討中
- ⑥ その他 ( )
- ⑦ 不明

(3) 新たに開発(又は研究・検討)している保安技術モデルにより改善される業務量等の想定改善率を教えてください。

- ① 開発予定はない。
- ② 80%以上の改善率
- ③ 60～79%の改善率
- ④ 40～59%の改善率
- ⑤ 20～39%の改善率
- ⑥ 20%未満の改善率
- ⑦ 改善は見込めない。
- ⑧ その他 ( )
- ⑨ 不明

(4) 採算性を考慮した理想的なスマート保安技術モデルのプランが有りましたら概要を記載して下さい。

・システム構成、活用技術（IoT類）、開発期間 等
<input type="text"/>

9 スマート保安技術の導入推進に障害となる事項の調査

スマート保安官民協議会では、技術革新に対応した保安規則・制度の見直しとスマート保安促進のための仕組み作り・支援を「官」が担うこととなっています。

貴組織におけるスマート保安技術モデルの導入を促進するために、障害（課題）となっている事項について、影響度合い（想定を含む）を「大、中、小、無し」から選択し、意見や詳細等があれば記載をお願い致します。

内 容		影響度	意 見 等
1	研究又は開発費用関係		
2	導入（初期投資）又は運用費用（ランニングコスト）関係		
3	技術力・開発力の不足		
4	推進プロジェクトリーダー又は専門技術者不足		
5	情報システム開発に関わる期間又は人材確保への不安		
6	サイバーセキュリティー対策への対応		
7	法、規則、内規等		
8	官公庁への許可申請・手続き		
9	社内ルール、制度、社会認知等		
10	特許、肖像権、守秘義務		
11	導入又は運用に関するリスクへの不安		
12	その他1（ ）		
	その他2（ ）		

大	影響が大きい（概ね80%以上）
中	ある程度の影響がある。（30超過～80%未満）
小	多少影響がある。（概ね30%以下）
無し	影響はない（0%）



1 1 ご意見・ご要望

(1) スマート保安へのご意見・ご要望がありましたらご記入をお願いします。



(2) スマート保安プロモーション委員会へのご意見・ご要望がありましたらご記入をお願いします。

